

1. 本園の教育目標

みんなの“わ”

- ・心身ともに、たくましい子供を育てる
- ・自分で考え、自分の力でやってみようとする子供を育てる
- ・豊かな感性をもち、表現する子供を育てる
- ・自分も友達も大切にしている子供を育てる

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標計画

(1) 努力目標 「友達っていいな～安心して自分の思いを出せる子供を育む」
(2) 特別支援教育
(3) 安心安全な教育保育

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 努力目標	A	遊びや生活を通して園児の内面（意欲・葛藤・達成感など）に目を向け、一人一人に寄り添い思いを言語化する援助を行うことで、感情に気づき安心して他児との関わりを喜びとする心を育んだ。
(2) 特別支援教育	B	園児の心身の健全な発達を願い、いつでも保護者が子育ての相談ができるよう「開かれた職員室」をモットーに対話と傾聴を重ね、保護者との信頼関係を築くことを丁寧に行った。医療・発達支援関係機関との円滑な連携を実施。
(3) 安心安全な教育保育	A	防災など緊急事態発生時の対応において、命を守り教職員・園児の安全対応能力の向上を図るため、環境改善との多様な訓練を実施。保護者へも情報を発信し危機管理意識向上に努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	園児同士が互いの個性や多様性を認め合えるよう、共に過ごす中で必要に応じてわかりやすく楽しい働きかけをすることで、「友達っていいな」と主体的にかかわりを持ち実感できるようになった。

◎「3.4.」の評価結果の表示方法

A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分でない D 取組が不十分である。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1. 豊かな実体験に基づいた多様な活動	・食育・リズムなど各領域に主体的に取り組む意欲を培う。 ・友達と一緒にだからこそ楽しい・できた手ごたえが実感できるような教育保育を行う。
2. 集団で育ち合い主人公になる教育保育	・好きな遊びや集団での心動く取組を通して、各々が主体性を発揮し、友達とのかかわりの中で生き生きと活動する。